

# 子ども・子育て支援事業計画(子ども施策の具体的事業)の実施状況

令和7年3月31日現在

(1)この実施状況は、計画書に掲載された成果指標の推移や各事業の実施状況について基本目標ごとにまとめたものです。

(2)Noは、計画書に掲載されている番号です。

(3)実施状況中の実施区分については次のとおりです。

「拡充・充実」とは、事業内容等の拡大・充実(実施方法の追加を含む)を図るものです。

「現状維持」とは、現状どおり事業を維持するものです。

「見直し」とは、事業実施の手段や方法を変更するもの、類似事業と整理・統合等を図るものです。

「廃止」とは、事業を廃止するものです。

## 基本目標1 子どもの権利を大切に取る取組の推進

### 1 成果指標

(単位:%)

指 標	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合					
指標の説明等	子どもの自己肯定感を見る指標 ※これまでの傾向を考慮しつつ、今後の事業展開によって増加するよう目標を設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
76.1	79.7	81.7	82.7	84.7	85.8	79.4
達成度	100.4	102.9	104.2	106.7	108.1	

### 2 施策の方向に対する事業の実施状況

#### 【実施状況の総括】

○子どもの権利に関する施策を推進するため、市職員に対し児童虐待防止に係る専門研修を実施したほか、「さがみはら子どもの権利相談室」において、子どもの権利侵害に関する相談支援を実施した。  
○児童虐待の予防や未然防止に向け、地域の大学や企業等の協力により、オレンジリボンを活用した広報・啓発活動を実施したほか、相模原市電設協会の協力により、ウェルネスさがみはらのオレンジライトアップを実施するなど、地域や関係機関と一体となった取組を進めることができた。

#### (1)子どもの権利に関する施策の推進

##### 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
1	(1)	2	子どもの人権等にかかる研修事業	210 1,749(児相)	139 918(児相)	A:当初の予定どおり実施できた	児童虐待の防止等のため、市職員に対する職場専門研修及び派遣研修を実施した。	継続的に実施していく。	現状維持	子ども・若者政策課 子ども家庭課 児童相談所
1	(1)	3	子どもの権利保障の推進	15,265	14,120	A:当初の予定どおり実施できた	子どもの権利条例に基づく、子どもの権利侵害に関する相談・救済の窓口として、平成27年11月に「さがみはら子どもの権利相談室」を開設し、子どもの権利救済委員3名、子どもの権利相談員4名により相談支援を行った。	条例制定10年に向け、より多くの市民に理解してもらえるようより効果的な子どもの権利に関する啓発の方法等を検討していく。	現状維持	子ども・若者応援課

## (2) 児童虐待予防・防止対策の強化

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
1	(2)	6	児童虐待防止の 啓発事業	242	214	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉短期大学や相模女子大学高等部、ホームタウンチーム、商業施設等の協力により、オレンジリボンを活用した広報・啓発活動を実施した。</li> <li>・相模原市電設協会の協力により、ウェルネスさがみはらのオレンジライトアップを実施した。</li> </ul>	継続的に実施していく。	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭課</li> <li>緑子育て支援センター</li> <li>中央子育て支援センター</li> <li>南子育て支援センター</li> </ul>
1	(2)	9	子育て支援セン ターの充実	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期にわたる、あらゆる相談に一元的に対応できるよう、情報共有を図り役割分担をし継続的な支援に努めた。</li> <li>・こども家庭センター設置に向け、児童福祉と母子保健の連携のあり方、事業の見直し等を進めた。</li> </ul>	令和7年4月に統括支援員を配置し、こども家庭センターの機能を加えた体制の充実を図るとともに、地域における子育て支援の充実に向けた事業の見直し等検討を進める。	拡充・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭課</li> <li>緑子育て支援センター</li> <li>中央子育て支援センター</li> <li>南子育て支援センター</li> </ul>
1	(2)	20	児童相談所体制 の充実・強化	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	法定の人員配置を実施した。	人材育成を含め児童相談所の在り方について検討する必要がある。	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭課</li> <li>児童相談所</li> </ul>

## (3)いじめ防止、不登校児童生徒への支援

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
1	(3)	23	青少年・教育相談事業	456,352	435,515	A:当初の予定どおり実施できた	来所相談15,937件、 電話相談849件	19歳未満の青少年及びその保護者等からの相談ニーズは高い状況が継続しており、青少年教育カウンセラーやスクールソーシャルワーカーの更なる資質向上に取り組むとともに、教育相談業務の効率化やデータの蓄積と多角的な視点による支援方針を検討する必要がある。	拡充・充実	教育相談課
1	(3)	26	いじめ防止への取組	6,038	5,572	A:当初の予定どおり実施できた	5月、11月のいじめ防止強化月間において、教育長メッセージや、児童生徒保護者向けリーフレットを配付し、いじめ防止の啓発を図った。また、いじめ防止フォーラムは、オンライン開催として、より参加しやすい負担を軽減した形にした。	いじめ防止強化月間の児童生徒保護者向けリーフレットについては、外国籍児童生徒の保護者向けに多言語で閲覧できるよう工夫しているが、より良い方法を検討する。 いじめ防止フォーラムについては、より全市的な取組となるよう事後の取組についても検討する。	拡充・充実	学校教育課
1	(3)	27	いじめ相談ダイヤルの実施	3,297	3,283	A:当初の予定どおり実施できた	令和5年度から24時間体制となるよう外部事業者へ委託し、さがみはら子どもSOSダイヤルとして運用を始めた。市立小・中学校及び義務教育学校からの相談を中心に、令和6年度は271件の相談があり、いじめに関する相談はそのうち23件であった。受けた相談内容を元に、区担当指導主事から学校対応へとつながることができた。	いじめ防止等の重要なセーフティーネットの一つとして、24時間の相談体制を継続していく。	現状維持	学校教育課

基本目標2 子どもの育ちを支える機能の充実と人材の確保

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指 標	保育を必要とする児童が、保育を受けることができる割合					
指標の説明等	本市の保育環境が整えられているかを示す指標					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
99.4	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0
達成度	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○子どもに寄り添う人材を育成するため、こどもセンター、児童館、児童クラブ指導員などに対し、子どもの人権などに係る研修の充実を図った。  
 ○複雑化・多様化する子どもに関する相談に対し、ヤングテレホン相談の実施や、「さがみはら子どもの権利相談室」における子どもの権利救済委員などによる相談支援の実施など、適切に対応できる体制を整えた。  
 ○就学前の子どもに対する教育・保育の充実に向けては、保育所等への研修の充実を図るとともに、保育士宿舎借上げ支援事業・修学資金貸付事業等による保育士の確保や市総合就職支援センター内に配置した保育士等就職支援コーディネーターを中心に潜在保育士の再就職に向けた支援を実施するなど、保育人材の確保に努めた。

(1) 子どもに寄り添う人の確保と研修の充実

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
2	(1)	29	教職員の研修の充実	6,204	5,646	A:当初の予定どおり実施できた	対面での研修効果が高いと判断した研修については、集合での研修を実施した。講師による講義や講演のみなど伝達型の研修は、オンラインで実施した。	引き続き、研修効果を考えながら研修形態を模索していく。オンライン研修のほかにオンデマンド型研修の内容についても検討していく。	現状維持	教育センター
2	(1)	34	こどもセンター、児童館、児童クラブ指導員等研修の充実	134	31	A:当初の予定どおり実施できた	子どもの人権研修等を実施し、計7回・193人の施設職員が受講した。	引き続き専門的な知識や指導技術を習得するため研修の充実を図るとともに研修受講履歴の管理し、今後、研修受講手法の充実化を図っていく。	拡充・充実	こども施設課

## (2) 相談機関の充実

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
2	(2)	35	子育て支援センターの充実	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	<p>・あらゆる相談に一元的に対応できるよう、情報共有を図り役割分担をし継続的な支援に努めた。</p> <p>・こども家庭センター設置に向け、児童福祉と母子保健の連携のあり方、事業の見直し等を進めた。</p>	地域における子育て支援の充実にに向けた検討を進める。	拡充・充実	こども家庭課 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター
2	(2)	39	ヤングテレホン相談の実施	4,225	3,457	A:当初の予定どおり実施できた	<p>電話やEメールによる相談件数は全体で458件であった。相談内容については「性に関する相談」や「話したい」、「家族関係」等が昨年度よりも増加し、それ以外は前年度同様の傾向だった。</p>	適確な電話相談の力を高めるとともに、迅速なメール相談対応を心がけ、相談者のニーズに合わせた相談活動を推進する。	現状維持	教育相談課
2	(2)	45	子どもの権利救済委員等の設置	15,265	14,120	A:当初の予定どおり実施できた	<p>子どもの権利条例に基づく、子どもの権利侵害に関する相談・救済の窓口として、平成27年11月に「さがみはら子どもの権利相談室」を開設し、子どもの権利救済委員3名、子どもの権利相談員4名により相談支援を行った。</p> <p>・相談件数177件</p>	新規相談件数が減少傾向にあるため、子どもの権利相談室の周知啓発リーフレット・カード(定型型)を作成し、市内の児童生徒に配布を行うなど、広く周知に努める。また、必要な支援機関に繋げる必要がある事案が発生したときに備え、関係各所と連携が取れる体制を整える。	現状維持	こども・若者応援課

## (3)就学前の子どもに対する教育・保育の充実

## 【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
2	(3)	52	相模原市保育者 ステップアップ研 修の充実	10,360	6,232	A:当初の予定ど おり実施できた	研修の内容等を考慮しながら、対面、もしくはオンラインと対面とのハイブリッド型で実施し、予定していた研修を全て実施することができた。 研修に係る検討会での意見を踏まえ、「次世代の保育者を育てるには」の研修に市内養成校職員に講師を依頼。園での実習生受け入れに活かせる内容とした。	研修に係る検討会を実施し、市内の幼児教育・保育施設のニーズを把握し、内容、量、実施方法等、検討していく。	現状維持	保育課
2	(3)	65	保育人材等の確 保	38,872	30,678	A:当初の予定ど おり実施できた	保育士宿舍借上げ支援事業・修学資金貸付事業等による保育士の確保や支援を行うとともに、市総合就職支援センター内に配置した保育士等就職支援コーディネーターを中心に就職相談やセミナーの開催等を行い、施設と保育人材のマッチングや潜在保育士の再就職に向けた支援を実施した。また、就職相談やセミナー開催の周知を兼ね、市保育連絡協議会と協力し、指定保育士養成施設を訪問することにより、学生の動向等の把握に努めた。	保育人材を確保し、より質の高い保育を提供できるよう、現在の事業を今後も継続するとともに、新たな取組も検討していく。	現状維持	こども・若者政策課 保育課

## (4)きめ細かな学校教育の推進

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
2	(4)	77	支援教育の推進	36,981	17,459	A:当初の予定ど おり実施できた	教育内容の充実を図るため、支援教育支援員・非常勤助員・看護師を配置し、適切な指導及び必要な支援につながった。また、学校サポートを配置し、通常の学級において支援を必要とする児童の情緒面及び生活面での支援を行った。	増加を続ける特別支援学級児童生徒数に応じた多様化する教育的ニーズへの対応について、インクルーシブの流れの中、医療的ケアをはじめ様々な状態像の児童生徒が増え、教員の専門性の向上や人材確保などが必要であると考える。	現状維持	支援教育課
2	(4)	87	キャリア教育の推進	184	126	A:当初の予定ど おり実施できた	社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育むキャリア教育について、各中学校区の児童生徒の現状を踏まえた「めざす子ども像」「育みたい力」を設定し、体系的な指導や「軸となる取組」を実践するなど、小中一貫の取組を行った。	各中学校区で設定した「めざす子ども像」を段階的に育成する成果指標を基にアンケートを実施、成果と課題を分析し、改善していく。また、学校、地域、各関係機関と更なる連携を図ることや、「キャリア教育パンフレット」の周知等を通じて保護者、地域とキャリア教育の理念や「育みたい力」の共有を一層進めていく。	現状維持	学校教育課
2	(4)	90	認定こども園・幼稚園・保育所・小学校の連携の推進	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	「架け橋プログラム・カリキュラム作成ガイド」をもとに、カリキュラム作成・幼保小連携の推進を図った。また、幼保小連携通信を通して、連携の好事例等を紹介した。	第4ステップ(互いのつながりを意識し、保育・教育に生かす接続段階)を重点とし、連携のための組織の設置、架け橋期のカリキュラム作成・実施・検証を目指す。	拡充・充実	保育課

(5) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
2	(5)	92	青少年健全育成協議会活動の推進	2,730	2,180	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区健全育成組織補助</li> <li>10,000世帯未満:@100,000円×7地区</li> <li>10,000世帯以上:@120,000円×11地区</li> <li>・代表者会議等</li> </ul>	<p>地域におけるつながりの希薄化や、担い手の高齢化などの要因により、構成員数が減少している。今後も、支援の充実を図り、地域の青少年健全育成組織を活性化させるとともに、その活動の目的や必要性を広く周知し、新たな担い手の発掘に努める。</p>	現状維持	子ども・若者応援課
2	(5)	95	ネットパトロールの実施	4,008	4,008	A:当初の予定どおり実施できた	<p>検索結果については、定期的に当該校に送付。緊急対応を要するものに関しては、その都度、学校等へ連絡を行うことができた。また、情報提供資料(ネットパトロールだより)に、学校非公式サイト、問題のある個人SNSサイト数を記載の上、各学校に送付するとともに教育センターのホームページに掲載した。</p>	<p>非公開設定やSNSの多様化により、個人を特定して検索をかけることが難しくなっているが、学校非公式サイト、問題のある個人SNSサイト数等も少なからず見られるため、引き続き、ネットパトロール調査を実施する。情報提供資料等(ネットパトロールだより)に具体事例を取り上げ未然防止にもつなげる。</p>	現状維持	教育DX推進課

基本目標3 子どもの夢をふくらませる場づくりの推進

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指 標	体験活動をして良かったと感じる児童生徒の割合					
指標の説明等	体験学習の効果を見る指標 ※これまでの傾向を参考に、年1ポイント増加することを目標に設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
86.7	87.8	87.5	88.2	88.3	90.4	92.7
達成度	94.7	94.4	95.1	95.3	97.5	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○一部の地域においては、公立児童クラブの待機児童が課題となっており、月の全日を休んだ際の減免制度を廃止するなど、真に必要とする児童が児童クラブを利用できるよう取組を進めた。また、一体型の放課後子供教室を4か所で実施するとともに、事業実施型の放課後子供教室を全てのこどもセンターと児童館で実施するなど、放課後の居場所づくりに努めた。  
○子どもに社会との関わりを実感してもらう子どもアントレプレナー体験事業や職場体験などを通じて、子どもの職業観の育成を図った。

(1)子どもの遊び場、居場所の確保と充実

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
3	(1)	100	こどもセンター、児童館、公立児童クラブ運営体制の充実	50,182	48,922	A:当初の予定どおり実施できた	保護者や地域住民、学校関係者等が運営委員会に参加することにより、意見を反映し、子どもの見守りができる運営を進めた。	引き続き、運営委員会に保護者や地域住民、学校関係者等に参加してもらう。また、家庭や学校、地域と連携しながら子どもを見守ることができる体制を推進していく。	現状維持	こども施設課
3	(1)	102	公立児童クラブ運営体制等の充実	134	31	A:当初の予定どおり実施できた	公立児童クラブを運営するにあたり、特別な配慮を必要とする児童を含む全ての児童が安心して過ごすことができるよう、市陽光園に講師等依頼し研修を実施、専門的知識及び指導技術等の習得に向けた研修を延べ3回開催した。 また、真に必要とする児童が児童クラブを利用できるよう月の全日を休んだ際の減免制度を廃止した。	専門的な知識と指導技術を習得するための研修の充実を図っていく。	拡充・充実	こども施設課

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
3	(1)	107	放課後子ども総合プラン推進事業	4,739	3,850	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一体型の放課後子供教室を4か所で実施した。</li> <li>・事業実施型の放課後子ども教室を全てのこどもセンターと児童館で実施した。</li> </ul>	現在実施している一体型の放課後子ども教室と事業実施型の放課後子ども教室を引き続き実施する。また、一体型の放課後子ども教室の拡充について検討する。	現状維持	こども施設課

## (2)子ども・若者の参画・多様な活動の機会の充実

## 【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
3	(2)	119	銀河連邦子ども 留学交流事業	1,528	1,159	A:当初の予定ど おり実施できた	令和6年度は相模原 市内で実施。全42名 が参加し、交流を深 めた。	今後も引き続き各共 和国において事業を 実施し、子ども同士 の交流を深めること で子どもの豊かな心 を育む。	現状維持	シティプロモーション戦 略課
3	(2)	124	相模原スポーツ フェスティバル事 業	2,512	1,894	A:当初の予定ど おり実施できた	令和6年10月14日に 開催 参加人数:2,800人	【課題】 新たな魅力のある企 画の検討・実施 【方向性】 参加者数を増やすた め、市民が興味を持 つ企画内容の検討や 周知方法について検 討する。	現状維持	スポーツ推進課
3	(2)	142	中高生ボランティ ア体験講座の実 施	0	0	A:当初の予定ど おり実施できた	ボランティア参加者: 30名	中高生のボランティ アの意識醸成を継続し て行う	現状維持	こども・若者応援課

(3) 子どもの職業観の育成

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
3	(3)	148	農業体験学習の実施	250	140	A:当初の予定どおり実施できた	令和6年度については、例年通り参加児童の募集を行い、田植え等の事業を実施した。天候不良による中止もなく、全ての事業を実施することができた。	今後も引き続き児童が農作業をとおして農業の大切さと収穫の楽しみを体験し、農家の方々と相互交流を深めるため、事業を実施する。	現状維持	農政課
3	(3)	149	さがみはら子ども・青年アントレプレナー体験事業	2,500	2,500	A:当初の予定どおり実施できた	○子どもアントレプレナー体験事業 (対象:小学生) 前年同様、宿泊開催ではなく、日帰りで開催した。 ○アントレ・チャレンジプロジェクト (対象:大学生等) 子どもアントレプレナー体験事業の企画や経営者との交流会等を実施した。 (令和6年6月～9月に実施)	・事業継続のため、実行委員会への補助や寄附等の財源確保が必要なことから、認知度向上の取組が必要 ・次世代を支える人材の育成は、将来の産業の発展には欠かせない取り組みであるため、今後も引き続き実施していく。	現状維持	創業支援・企業誘致推進課
3	(3)	150	職場体験支援事業	692	621	B:一部実施できなかった	職場体験を再開した学校が増加した。	今後も、積極的に協力事業所リスト、出前講座リストの情報提供を行うとともに、職場体験事業における学校の支援を継続する。	現状維持	学校教育課

基本目標4 子と親の健康づくりの推進

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指 標	乳幼児の健康状況の把握率					
指標の説明等	乳幼児の健康、発達、発育等の支援ができているかを見る指標 (全ての乳幼児に対して健康、発達、発育等の支援をすることを目標に設定。)					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0
達成度	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○市内大学の学生向けに妊娠・生殖、不妊治療等に関する教育を実施するとともに、不妊・不育に悩む人に対し、不妊カウンセラーによる相談を実施するなど、妊娠前に対する支援の充実を図った。  
 ○妊婦健康診査への助成により、妊婦の経済的負担を軽減し、積極的な妊婦健診の受診を奨励したほか、母親・父親教室を通じて子育て支援を行うなど、妊産婦等への支援の充実を図った。  
 ○子どもの心身の健やかな成長に向け、乳幼児健診や新生児聴覚検査などを実施し、個々に合わせたきめ細かな育児支援を実施した。  
 ○母子訪問相談員による乳児のいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」の実施や、子育て広場での交流事業の拡充などにより、育児における孤立感の解消や、育児に対する不安・負担感の軽減を図った。

(1) 妊娠前に対する支援

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
4	(1)	152	妊娠・生殖、不妊治療等に関する普及啓発	221	169	A:当初の予定どおり実施できた	・市内大学の学生に向けた講座や普及啓発を実施。市内在住・在勤で、将来の妊娠・出産を考える(可能性のある)者にむけた教育を実施。	市内大学及び市民向けの教育を各1回行い、知識の普及に向けた教育を継続していく。	現状維持	こども家庭課
4	(1)	153	不妊・不育専門相談	929	387	A:当初の予定どおり実施できた	月1回開催 電話相談:3件 面接相談:8件 ・市民のニーズ等を踏まえ、週休日開催を試行的に実施	不妊・不育に悩む方が早期に相談につながるような、休日や夜間の対応について検討していく。	現状維持	こども家庭課

(2) 妊娠・出産の安全性や快適さの確保

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
4	(2)	158	妊婦健康診査事業	329,353	283,555	A:当初の予定ど おり実施できた	最大助成回数16回、 助成限度額90,000円 として、妊婦の経済的 負担を軽減し、積極 的な妊婦健診の受診 を勧奨した。	補助券金額の増額、 補助券から受診券化 への変更を検討して いく	拡充・充実	こども家庭課
4	(2)	161	ハローマザークラ ス(母親・父親教 室)	1,353	1,479	A:当初の予定ど おり実施できた	実施回数:38回 参加者数:1514人 (妊婦776人、その他 738人)	継続的に実施してい く。	現状維持	緑子育て支援センター 中央子育て支援セン ター 南子育て支援センター
4	(2)	162	母子保健型利用 者支援事業	51,800	49,865	A:当初の予定ど おり実施できた	母子健康手帳交付時 の支援プラン作成実 績 4022件 100% 母子健康手帳交付時 の要支援者新規把握 771件	引き続き関係機関等 と連携し支援を実施 していく。	現状維持	緑子育て支援センター 中央子育て支援セン ター 南子育て支援センター

## (3) 子どもの心と身体の健やかな成長の促進

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
4	(3)	169	乳幼児健康診査事業	19,642	18,948	A:当初の予定どおり実施できた	・乳幼児健康診査個別相談件数 保健師1072件、心理相談員841件 栄養士1,273件 ・乳幼児健診事後指導人数1,880人に対し、保健指導を実施した。	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター
4	(3)	182	新生児聴覚検査事業	17,128	15,725	A:当初の予定どおり実施できた	新生児等の聴覚障害を早期に発見するため、そのスクリーニング検査に必要な費用を限度額、自動ABR5000円、OAE2200円助成した。	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課
4	(3)	183	小児医療費援護事業(養育医療、育成医療、小児慢性特定疾病)	54,673(養育医療) 2,537(育成医療) 147,024(小児慢性)	37,601(養育医療) 1,048(育成医療) 146,580(小児慢性)	A:当初の予定どおり実施できた	入院することが必要な未熟児、障害のある子ども及び特定の疾患に罹患している子どもに、必要な医療を給付した。	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課

## (4) 育児不安の軽減

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
4	(4)	184	子育て広場の拡充	1,850	1,658	A:当初の予定どおり実施できた	6か所のこどもセンターで子育て広場事業を実施した。(延べ利用者数10,442人)	子育て広場事業から地域子育て支援拠点事業への移行を促す。	現状維持	こども施設課
4	(4)	186	保育所等における子育て広場事業の実施	114,476 公立1,476 民間113,000	109,877 公立1,016 民間108,861	A:当初の予定どおり実施できた	公立施設においては、さがプリコやSNS等を活用し、交流事業を実施した。民間施設においては、新規開設園を中心に子育て広場事業の実施園を拡充した。さがプリコや市ホームページにて事業の周知を行い、地域の子育て家庭に対する支援体制の充実を図った。	地域の子育て家庭に対する支援体制の充実を図るため、公立施設においては、事業内容や開催数・時間等を見直し、各地域の特色や子どもの様子・保護者のニーズに合った内容を充実させる。民間施設においては、今後も実施体制を維持できるよう、人件費及び事業費に対する補助を継続していく。	現状維持	保育課
4	(4)	200	産前・産後支援事業の充実	133,930	102,858	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア事業 利用者実人数1,073人 利用延べ日数 3,793日</li> <li>・産婦健康診査事業 産後2週間健診 2,942人 産後4週間健診 3,626人</li> <li>・産前・産後サポート事業 実施回数 80回</li> <li>・子育て世帯訪問支援事業(R4.10開始) 利用回数14回(多胎産婦分)</li> </ul>	引き続き、事業の周知を継続し、利用者の拡大に努める。また、国の動向及び市民のニーズ等を踏まえて、サービスの充実を図る。	拡充・充実	こども家庭課
4	(4)	201	こんにちは赤ちゃん事業	25,507	20,920	A:当初の予定どおり実施できた	こんにちは赤ちゃん事業 3,815件	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター

基本目標5 子どもの成長段階に応じた切れ目のない支援

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位: %)

指 標	子どもを育てていることに満足している市民の割合					
指標の説明等	子どもを育てていく上で、楽しく子育てができていくかを見る指標 ※これまでの傾向を参考に、年1ポイント増加することを目標に設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
81.7	81.9	81.7	59.0	64.7	77.0	87.7
達成度	93.4	93.2	67.3	73.8	87.8	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○母子の健康確保や安心して子育てをしていくために、妊婦健診、定期予防接種、就学時健診などの実施を通じて、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。  
○電子母子手帳アプリ「さがプリコ」について、オンライン予約機能の導入や出産・子育て応援ギフトの電子申請を可能にするなど、機能拡充を図ることで、利用者の利便性を向上させるとともに、市からの情報発信の環境を整えることができた。

(1) 妊産婦・乳幼児期に関する切れ目のない保健対策の充実

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
5	(1)	213	妊婦健康診査事業	329,353	283,555	A:当初の予定どおり実施できた	最大助成回数16回、助成限度額90,000円として、妊婦の経済的負担を軽減し、積極的な妊婦健診の受診を勧奨した。	補助券金額の増額、補助券から受診券化への変更を検討していく	拡充・充実	こども家庭課
5	(1)	216	予防接種事業	3,445,296	3,015,805	A:当初の予定どおり実施できた	○予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施 ○無料の風しん抗体検査及び任意の風しん予防接種費用の一部助成を実施 ○個別通知や広報紙での接種勧奨を実施 ○HPV定期予防接種、キャッチアップ接種の対象者及び保護者に対して、接種についての情報提供をするための案内通知送付を実施	近年、予防接種の種類が増加し、接種時期等が複雑化していることから、被接種者(保護者)が制度等を理解し適切に接種できるように、必要な最新情報について、通知、広報等を通じた継続的な啓発が必要である。	現状維持	疾病対策課
5	(1)	217	就学時健診	5,346	4,743	A:当初の予定どおり実施できた	市内小学校及び公共施設において実施し(R6.10月~12月)、入学予定の子どもの健康状態を把握した。	継続的に実施していく。	現状維持	学校保健課

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
5	(1)	218	電子母子健康手帳を用いた情報発信や災害時におけるデータ管理の推進	2,004	2,004	A:当初の予定どおり実施できた	既存機能を利用した情報発信を行うほか、オンライン予約機能の導入や出産・子育て応援ギフトの電子申請を本アプリを介して行う形としたことで利用者数を伸ばすことができました。	母子保健事業の予約から始め、幅広く本機能が活用されるよう情報発信と併せて運用方法を引き続き整理していく。	現状維持	こども家庭課
5	(1)	219	母子保健型利用者支援事業	51,800	49,865	A:当初の予定どおり実施できた	母子健康手帳交付時の支援プラン作成実績 4022件 100% 母子健康手帳交付時の要支援者新規把握 771件	引き続き関係機関等と連携し支援を実施していく。	現状維持	緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター

## (2)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
5	(2)	224	HIV/エイズ・性感染症予防対策事業	1,373	1,108	A:当初の予定どおり実施できた	市内中学生、高校生を対象にNPO法人による講演会を実施した。 講演会実施回数及び参加人数 全 19回 計 3,271人	性感染症の正しい知識や対処方法を伝え、性感染症予防に繋がるよう、市内の中学・高校等におけるエイズ性感染症講演会を継続する。	現状維持	疾病対策課
5	(2)	225	「性に関する指導の手引き」の活用及び改訂と性に関する指導の推進	0	0	A:当初の予定どおり実施できた	教育センターポータルサイトを活用し、「性に関する手引き」を掲載を行った。ポスターを作成し周知を行った。	相小研・相中研養護教諭部会と連携し、さらなる充実を図ってきたい。	現状維持	教育センター
5	(2)	226	薬物乱用防止対策事業	489	485	A:当初の予定どおり実施できた	・相模原市薬物乱用防止連絡会 ・相模原市薬剤師会と啓発事業に係る協定事業の実施 ・麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動実施期間における啓発 ・活動実施期間の懸垂幕掲揚・ポスター掲示	薬物乱用の状況に対応した普及啓発活動を継続的に行う。	現状維持	地域保健課
5	(2)	227	喫煙・飲酒及び薬物乱用防止教育の推進	-	-	B:一部実施できなかった	令和5年度には、小学校19校、中学校31校、合計50校実施した。 文科省の調査が2年に一度となったため、令和6年度は未調査。	中学校は年1回は開催義務になっているので、引き続き実施できるよう啓発していく。	現状維持	学校教育課

(3) 子どもや子育て家庭等のニーズに応じた相談体制の充実

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
5	(3)	229	療育相談事業	5,381	4,782	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規相談件数:898件</li> <li>・心理個別支援・評価件数:779件</li> <li>・児童発達支援事業利用延べ人数:500人</li> <li>・機能訓練 理学療法:383件 作業療法:307件 言語聴覚療法:983件</li> <li>・福祉機器相談件数:181件</li> <li>・巡回訪問: 保育園訪問回数195回 幼稚園訪問回数82回 (認定こども園は幼稚園に含む)</li> <li>・保・幼合計相談児数:1,548人</li> </ul>	平成28年度に策定した療育センター再整備基本計画に基づく取組を進め、療育の充実を図る。	現状維持	陽光園 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター
5	(3)	230	発達障害支援センターの運営	19,231	18,344	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援:665件</li> <li>・発達支援(継続相談):307件</li> <li>・就労支援:1,846件</li> <li>・普及啓発・研修(主催・共催・講師派遣):47回</li> <li>・関係機関との連携:40回</li> </ul>	発達障害の専門機関として、高校生年齢以降の発達障害児者とその家族への支援や支援者向け研修等を継続して行う。また、市民に対して講演会等を通じて、発達障害の理解促進を図る。	現状維持	陽光園
5	(3)	233	思春期相談	—	—	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所相談 実1人延1人</li> <li>電話相談 実17人延19人</li> </ul>	継続的に実施していく。	現状維持	緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター
5	(3)	234	学校支援体制の充実	No.23に 含む	No.23に 含む	A:当初の予定ど おり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年教育カウンセラーによる小学校出張相談件数は27,702件、中学校出張相談件数は18,543件</li> <li>スクールソーシャルワーカーによる相談件数は、小中学校及び義務教育学校で合計15,994件</li> </ul>	児童生徒や保護者、教職員からの相談ニーズは高い状況にあり、青少年教育カウンセラーやスクールソーシャルワーカーの更なる資質向上に取り組みとともに、教育相談業務の効率化やデータの蓄積と多角的な視点による支援方針を検討する必要がある。	拡充・充実	教育相談課

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
5	(3)	237	男女共同参画推 進センター女性 相談事業	1,220	1,209	A:当初の予定ど おり実施できた	ソレイユさがみ女性 相談室において、子 育てに関する悩みを 含む女性の様々な悩 み相談を行った。 ・相談件数:2,155件	引き続き、女性が抱 える様々な悩みにつ いて相談業務を行う とともに、相談内容に 応じた情報提供を行 う。	現状維持	人権・男女共同参画課

基本目標6 さまざまな家庭の状況に応じた支援の充実

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指 標	児童扶養手当の受給開始後5年経過者の就労している割合					
指標の説明等	就労による自立に向けた指標(児童扶養手当法第13条の3の該当者で就労している受給者) ※児童扶養手当法第13条の3の規定は、手当受給から5年を経過等し、求職活動を行わず、本人の障害等の理由が無く就業していない場合、支給額を2分の1にするもの。					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
84.1	84.0	80.6	78.6	81.0	79.7	86.0
達成度	97.7	93.7	91.4	94.2	92.7	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○地域での自立した生活が困難な母子世帯等に対し、母子生活支援施設において母子保護を実施し、家庭の課題に応じて養育や就労等の支援を実施するとともに、ひとり親家庭の父母の自主的な能力開発への支援のために自立支援教育訓練給付金を支給するなど、ひとり親家庭などの自立に向けた支援を実施した。  
○療育相談事業において発達及び障害に関する相談を実施するとともに、児童発達支援センターにおいて、就学前の運動の発達に遅れのある子どもを対象に機能訓練等を実施するなど、障害の有無にかかわらず、自立して社会参加することができるよう、支援を実施した。  
○子どもの最善の利益の実現を目的とし、里親委託の推進や制度の普及啓発、児童養護施設等の高機能化及び小規模化などの取組により社会的養育体制の充実を図った。  
○子どもの現在および将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、児童扶養手当受給世帯等の中学生への家庭教師の派遣や、経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費の交付など、子どもや世帯に対する経済的支援を推進した。

(1)ひとり親家庭等の自立に向けた支援

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(1)	245	母子生活支援施設への入所	157,574	157,567	A:当初の予定どおり実施できた	地域での自立した生活が困難な母子世帯等に対し、母子生活支援施設において母子保護を実施し、家庭の課題に応じて養育や就労等の支援を行った。	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課
6	(1)	249	自立支援教育訓練給付金の支給	1,100	999	A:当初の予定どおり実施できた	ひとり親家庭の母又は父の自主的な能力開発を支援した。 支給件数 11件	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課
6	(1)	256	支援制度の周知の充実	0	0	A:当初の予定どおり実施できた	市のホームページやチラシで広く周知を図った。	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課

(2)配慮が必要な子どもと家庭への支援

【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(2)	267	療育相談事業	5,381	4,782	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規相談件数:898件</li> <li>・心理個別支援・評価件数:779件</li> <li>・児童発達支援事業利用延べ人数:500人</li> <li>・機能訓練 理学療法:383件</li> <li>作業療法:307件</li> <li>言語聴覚療法:983件</li> <li>福祉機器相談件数:181件</li> <li>・巡回訪問: 保育園訪問回数195回 幼稚園訪問回数82回 (認定こども園は幼稚園に含む)</li> <li>保・幼合計相談児数:1,548人</li> </ul>	平成28年度に策定した療育センター再整備基本計画に基づく取組を進め、療育の充実を図る。	現状維持	陽光園 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター

No.36、229再掲

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課	
6	(2)	272	医療型児童発達支援センターの運営	6,294	5,602	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化、重度化する子どもの障害の状態に合わせた、クラスごとの療育プログラムを実施。</li> <li>・子どもの状態に合わせた専門的な支援を実施するために職員は計画的に研修を受講し、多様な本人支援、保護者支援、就園先への支援を実施</li> </ul> 令和7年3月在籍数20名(定員40人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状態に合わせた療育や保護者支援の在り方、安全管理への取り組みとともに、災害時等に持続可能な運営、また児童発達支援センターとして地域における障害児支援に取り組むべき事業の検討を行う。</li> </ul>	現状維持	陽光園	No.64再掲
6	(2)	273	福祉型児童発達支援センターの運営支援	5,381	4,782	A:当初の予定どおり実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センター連絡調整会議の開催</li> <li>・児童発達支援センターの通所に関わる利用候補者選定会議、利用調整会議の開催</li> <li>・子育て講座に協力</li> </ul>	各区における児童発達支援センターが地域で中核的役割を果たせるよう運営及び技術支援を継続する。	現状維持	陽光園 緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター	
6	(2)	302	支援保育の推進	577,161	566,814	A:当初の予定どおり実施できた	支援保育コーディネーターの養成研修等の実施により児童の受入れ体制の充実を図った。また、私立幼稚園等の支援保育体制の整備に対し補助を行った。	保護者の保育ニーズに対応するため、引き続き支援保育実施施設の支援を図る。	現状維持	保育課	No.56再掲

(3)多様な文化をもった子どもと家庭への支援

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(3)	312	外国人相談の実施	1,283	630	A:当初の予定どおり実施できた	令和5年度から引き続き、一般相談、法律相談及び東京出入国管理局横浜支局職員を相談員とする在留手続相談を実施した。	今後も引き続き在留外国人の相談に対応する。	現状維持	区政推進課
6	(3)	313	海外帰国及び児童生徒教育の推進	33,223	33,223	A:当初の予定どおり実施できた	・海外帰国及び外国人等児童・生徒の教育上の支援や充実を図るため、日本語指導講師を派遣した。また母語通訳を介して対象児童生徒への生活指導やその保護者との相談活動等を支援するため、日本語指導等協力者を派遣した。	日本語指導が必要な児童生徒が増加した場合の対応が課題となる。日本語指導講師の総配置回数を増加するほか、引き続き、日本語指導が必要な児童・生徒が多い学校には、国際教室の設置、日本語指導講師を常駐配置するなど、効率的・効果的な日本語指導体制を構築していく。	現状維持	学校教育課
6	(3)	314	「くらしのガイド」外国語版の作成	2,161	1,738	A:当初の予定どおり実施できた	市ホームページに掲載している全9言語のうち3言語の更新を実施。	掲載内容を精査した上で、随時更新を実施していく。	現状維持	国際課

(4) 配偶者等からの暴力の問題をかかえる家庭への支援

【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(4)	316	配偶者暴力相談支援センター事業	724	392	A:当初の予定どおり実施できた	DVの根絶をめざし、相模原市配偶者暴力相談支援センターを中心に、DV被害者に対する切れ目のない保護・支援を図るとともに、DV防止に向けた啓発を推進した。	引き続き、DV被害者の情報保護に万全を期すとともに、切れ目のない保護・支援に向けて、関係課との連携を充実する。	現状維持	人権・男女共同参画課
6	(4)	318	母子生活支援施設への入所	157,574	157,567	A:当初の予定どおり実施できた	地域での自立した生活が困難な母子世帯等に対し、母子生活支援施設において母子保護を実施し、家庭の課題に応じて養育や就労等の支援を行う	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課

No.245再掲

## (5) 社会的養育体制の充実

## 【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(5)	326	里親委託等の推進	47,228	46,054	A:当初の予定どおり実施できた	・里親養育に関する業務をフオスターリング機関に委託。新規里親の認定登録1組。	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課 児童相談所
6	(5)	328	児童養護施設等の高機能化及び小規模化かつ地域分散化の推進	-	-	B:一部実施できなかった	小規模グループケア化及びグループホームの整備を行うことについて、具体的な整備内容、方法等を児童養護施設の運営法人と検討を進めた。	継続的に実施していく。	拡充・充実	こども家庭課

## (7)子どもの貧困対策の推進

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
6	(7)	347	ひとり親家庭等学習支援事業	38,924	36,131	A:当初の予定どおり実施できた	児童扶養手当受給世帯等の中学生に家庭教師を派遣した。 対象者数 150人	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課
6	(7)	354	就学援助費の交付	589,147	566,058	A:当初の予定どおり実施できた	交付対象者数 小学校4,384人(うち要保護68人) 中学校2,293人(うち要保護90人) ※大野南中学校分校(夜間学級)含む	国庫補助基準単価の改定に対応する。	現状維持	学務課
6	(7)	356	給付型奨学金事業	96,308	92,136	A:当初の予定どおり実施できた	給付奨学生数: ・入学支度金(20,000円):R7年度入学者(中学3年生)323人 ・修学資金(年額100,000円):高等学校等1~4年生893人	・財源確保 ・本市奨学金制度の効果を検証するとともに、国・県における教育費支援制度の増額改定について要望を行っていく。	現状維持	学務課

基本目標7 子育ての意義や価値に対する意識の醸成

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指 標	子育てをしていることを社会に温かく見守られていると感じる市民の割合					
指標の説明等	子育てに対する社会全体の意識の醸成を見る指標 ※これまでの傾向を参考に、年1ポイント増加することを目標に設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
25.8	34.8	36.7	12.0	16.0	27.3	31.8
達成度	109.4	115.4	37.7	50.3	85.8	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○多様な働き方に対応するため、延長保育や放課後児童対策に取り組むとともに、病児・病後児保育を拡充し、各区1か所ずつで実施し、保護者の就労と子育ての両立を支援した。  
○子育てに係る情報発信を目的とした「子育てガイド」に”パパのページ”を設け、父親の育児に係る情報を発信するとともに、市立男女共同参画推進センターにおいて、啓発講座を実施し、男女が共に家事や育児を担う意識の促進を図った。

(1)家庭教育支援の充実

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
7	(1)	359	家庭教育についての学習機会の提供	1,437	1,286	A:当初の予定どおり実施できた	保護者や地域の方を対象に、市PTA連絡協議会と連携した学習会や、公民館での講座などを実施した。  【市P連】11ブロック 【公民館】7館	引き続き、市PTA連絡協議会と連携し、事業を実施する。 公民館においては事業実施館の拡大を検討する。	拡充・充実	生涯学習課
7	(1)	360	副読本教材等の発行	6,606	6,180	A:当初の予定どおり実施できた	各種教育に関する副読本を発行し、授業等での、積極的な活用を促した。	各学校において、児童生徒の学びや家庭教育を支援できるよう、活用の充実を図っていきたい。	現状維持	教育センター
7	(1)	362	子どもの発達を理解するための講座の実施	866	796	A:当初の予定どおり実施できた	相模原市発達サポート講座を、9月から翌年7月にかけて、基礎講座A・B・Cの3コース(各コース7回、全21回)を開催。 令和6年度は第4期のCコース及び第5期のA・Bコースを開催した。	令和7年度に受講者数を60名から80名に拡大し、引き続き事業を実施する。	拡充・充実	生涯学習課

## (2)仕事と子育ての両立支援

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
7	(2)	368	病児・病後児保育の拡充	46,376	43,045	A:当初の予定どおり実施できた	各区に1か所づつ、計3施設で実施し、保護者の就労と子育ての両立を支援した。	事業の認知度向上を図るとともに、利便性の向上に向けた取組みについて検討を行う。	現状維持	保育課
7	(2)	369	公立保育所・幼稚園等の保育環境の確保と保育サービスの充実	195,403	145,654	A:当初の予定どおり実施できた	津久井地域の施設の集約化に係る(仮称)城山保育園建築工事を実施した。 また、旧相模原市の施設については、引き続き受け皿を確保できるよう、老朽化が著しい相原保育園の長寿命化改修工事基本設計、田名保育園の外壁塗装等改修工事実施設計及び同工事を行った。	津久井地域については、方向性が決定している城山地区の施設の集約化を進めるとともに、他の地区の施設についても、引き続き適正なあり方を検討していく。	拡充・充実	保育課
7	(2)	377	公立児童クラブ運営体制等の充実	134	31	A:当初の予定どおり実施できた	公立児童クラブを運営するにあたり、特別な配慮を必要とする児童を含む全ての児童が安心して過ごすことができるよう、市陽光園に講師等依頼し研修を実施、専門的知識及び指導技術等の習得に向けた研修を延べ3回開催した。 また、真に必要とする児童が児童クラブを利用できるよう月の全日を休んだ際の減免制度を廃止した。	専門的な知識と指導技術を習得するための研修の充実を図っていく。	現状維持	こども施設課

(3) 男女が共に家事や育児を担う意識の啓発

【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
7	(3)	382	男女が共に仕事と生活を両立できる環境づくり	1,063	1,002	A:当初の予定どおり実施できた	<p>・子育てに係る情報発信を目的とした「子育てガイド」に「パパのページ」を設け、父親の育児に係る情報を発信した。</p> <p>・「わが家の家事シェアチェックリスト」をホームページ上で公開し、家庭内での育児を含む家事の役割分担について考える機会を提供した。</p> <p>・市立男女共同参画推進センターにおいて、啓発講座等を実施し、男女が共に家事や育児を担う意識の促進を図った。</p> <p>開催講座等:2本(延べ3回) 参加者:23人(延べ) 女性:15人/ 男性:8人</p> <p>・父親の育児参画促進事業として男性の育児参画講座を開催した。</p> <p>開催数:全8回 参加者:142人(延べ)</p>	引き続き、家事や子育てにおいて、性別による固定的役割分担意識が強調されたり、女性の社会参画の促進が妨げられることのないよう、男女共同参画の視点に立った取組を行う。	現状維持	人権・男女共同参画課

## (4) 次代の親の育成

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
7	(4)	383	思春期普及啓発事業	—	—	B:一部実施できなかった	①思春期出前講座:実施校13校 参加者1,789人 ②赤ちゃんとふれあい体験教室休止中(ベビー人形や妊婦体験ジャケットの貸出を希望校に実施)	①継続的に実施していく ②コロナ禍から休止中の赤ちゃんとふれあい体験教室について検討する	現状維持	緑子育て支援センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター

(5)企業による子育て支援の取組の促進

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
7	(5)	384	仕事と子育ての両立のための啓発事業	13,048	8,707	A:当初の予定どおり実施できた	仕事と子育ての両立に向けた講座の実施、両立支援に積極的に取り組んでいる市内企業に対する表彰を行っている。また、妊娠・子育てをしながら安心して働くことのできる社会の実現に向け、国の子育てサポート企業としての認定制度である「くるみん認定」等の取得をめざし、従業員が働きやすい環境整備に取り組む事業主を支援している。	令和6年度と同様に、引き続き実施していく。	現状維持	産業支援・雇用対策課

基本目標8 地域の育児力の向上

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:人)

指 標	子育てサポーターの活動者数					
指標の説明等	地域の子育て支援が推進されているかを見る指標 ※就労等を理由とした活動自体に考慮しつつ、現状維持に加え、年間数名ずつ活動者が増加することを目標に設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
194	184	139	135	144	152	212
達成度	86.8	65.6	63.7	67.9	71.7	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

<p>○こどもセンターや保育所等で子育て広場事業を展開し、地域の子育て家庭に対する支援体制の充実を図った。 ○地域住民が子育ての援助を行う「ファミリー・サポート・センター事業」などの実施に対し、支援を行うことで子育て環境の充実を図った。</p>
--

(1)身近な地域で進める子育て支援

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
8	(1)	387	子育て広場の拡充	1,850	1,658	A:当初の予定どおり実施できた	6か所のこどもセンターで子育て広場事業を実施した。(延べ利用者数10,442人)	子育て広場事業から地域子育て支援拠点事業への移行を促す。	現状維持	こども施設課
8	(1)	389	保育所等における子育て広場事業の実施	114,476 公立1,476 民間113,000	109,877 公立1,016 民間108,861	A:当初の予定どおり実施できた	公立施設においては、さがプリコやSNS等を活用し、交流事業を実施した。民間施設においては、新規開設園を中心に子育て広場事業の実施圏を拡充した。さがプリコや市ホームページにて事業の周知を行い、地域の子育て家庭に対する支援体制の充実を図った。	地域の子育て家庭に対する支援体制の充実を図るため、公立施設においては、事業内容や開催数・時間等を見直し、各地域の特色や子どもの様子・保護者のニーズに合った内容を充実させる。民間施設においては、今後も実施体制を維持できるよう、人件費及び事業費に対する補助を継続していく。	現状維持	保育課
8	(1)	399	子育て応援店事業	725	725	A:当初の予定どおり実施できた	登録店舗数 346店舗	子育て応援店の掲載を「はなたんネット」から「さがみんなナビ」に移行し、子育て応援パスポート及び子育て応援店のステッカーを一新したため周知に努める	現状維持	こども家庭課

## (2)子育て支援活動のサポート

## 【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
8	(2)	402	ファミリー・サポ ート・センター事業	23,338	19,871	A:当初の予定どお り実施できた	・会員数:3,356人(内 利用会員:2,602人、 援助会員:691人、 両方会員:63人) ・活動件数:8,864件	継続的に実施して いく。	現状維持	こども家庭課
8	(2)	404	子育て広場の拡充	1,850	1,658	A:当初の予定どお り実施できた	6か所のこどもセン ターで子育て広場事 業を実施した。(延 べ利用者数10,442 人)	子育て広場事業から 地域子育て支援拠 点事業への移行を 促す。	現状維持	こども施設課

(4)子育てに関する学習機会の充実

【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事 業 名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
8	(4)	411	地域子育て支援拠点事業における講座の充実	No.185に 含む	No.185に 含む	A:当初の予定どおり実施できた	【実績】 さがプリコでの周知を引き続き行いながら、毎月各広場での講座を実施した。 ・延べ参加者数:1,012名 ・延べ参加組数:445組	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課

基本目標9 安全・安心して暮らせるやさしいまちづくりの推進

令和7年3月31日現在

3 成果指標

(単位:件)

指 標	市内で発生した子どもの交通事故件数					
指標の説明等	子どもの安全が確保されているかを見る指標 ※これまでの傾向を参考に、約10%減少することを目標に設定					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
189	139	149	138	159	131	170
達成度	122.3	114.1	123.2	106.9	129.8	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○未就学児の安全性の確保のため、保育所等を対象とした交通安全教室を実施したほか、地域団体と協力し、通学路の安全対策の改善に係る要望を実施するなど、交通安全意識の向上に努めた。  
○妊婦や子どもなど誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインのまちづくりを進めるとともに、相模原スポーツ・レクリエーション・パークを全面供用するなど、子どもの遊び場や地域のコミュニティの場の整備を進めた。

(1) 事故・犯罪・災害から子どもを守る安全・安心対策の推進

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
9	(1)	417	未就学児等の交通安全対策の推進	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	未就学児の安全性の確保のため、保育所等を対象とした交通安全教室を実施した。	引き続き、新規開設園等における移動経路の安全確認を行っていく。	現状維持	こども・若者政策課 保育課
9	(1)	418	通学路における交通安全対策の推進	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	令和6年度 改善要望件数 185件	今後も継続して通学路の安全対策の改善を行う。	現状維持	学務課
9	(1)	419	街区公園等における遊具の安全点検及び改修事業	152,928	137,998	A:当初の予定どおり実施できた	550公園の公園遊具の安全点検のほか、相模原市公園施設長寿命化計画等により、35公園の遊具を撤去・更新した。また、他の公園施設と合わせ、随時、公園遊具の補修を実施した。	平成27年度に策定した「相模原市公園施設長寿命化計画」に基づき、引続き公園遊具の更新等を実施する。	現状維持	公園課 津久井地域環境課
9	(1)	436	災害安全の確保	2,500	2,500	A:当初の予定どおり実施できた	緊急地震速報システムの保守点検を行った。洪水や土砂災害が起こる地域では、各区役所地域振興課と連携し、マイ・タイムライン出前授業を行った。	災害に対する知識や防災行動について、最新の情報を提供しながら啓発をしていく。洪水・土砂災害に関する備えは、ハザード地域内の学校を中心にマイ・タイムライン出前授業を実施していく。	現状維持	学校教育課

## (2) みんなにやさしいまちづくり

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
9	(2)	437	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	990	851	A:当初の予定どおり実施できた	【ソフト面の普及として】 ・市民協働提案事業にて市民向けユニバーサルデザイン通信(UDさがみはら)の作成・配布 ・「相模原市 色の見え方に着目したカラーユニバーサルデザインガイドライン」の作成・配布 ・「知ってほしい!ユニバーサルデザインパンフレット」の作成・配布	ユニバーサルデザイン通信(UDさがみはら)の内容の充実、配布場所拡大	拡充・充実	地域包括ケア推進課
9	(2)	441	都市公園の整備推進	420,085	330,938	A:当初の予定どおり実施できた	平成30年度より、スポーツ・レクリエーションゾーン(相模総合補給廠共同使用区域内)基本計画に基づき整備を実施し、令和2年11月に相模原スポーツ・レクリエーションパークとして一部供用を開始した。その後、人工芝グラウンド、人工芝軟式野球場などの供用を開始し、令和6年4月には全面的供用を開始した。また、令和6年度は、駐車場、人工芝グラウンドの照明設備の設置など、公園の機能性向上を図る整備を実施した。	令和7年度も引き続き、休養施設など、付属施設の設置により、公園の機能性向上を図る。	拡充・充実	公園課
9	(2)	445	人にやさしいみちづくり事業	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	道路の整備における歩道へ点字ブロックの設置など、バリアフリーに配慮した道路整備を推進した。	継続的に実施していく。	現状維持	道路整備課

## (3)子育て家庭への経済的支援

## 【事業の実施状況】

基本 目標	施策の 方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和5年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
9	(3)	446	小児の医療費の助成	2,717,943	2,710,499	A:当初の予定どおり実施できた	こども医療費助成を実施した。 令和6年8月から、対象年齢を高校生世代まで拡大し、中学生までについては、養育者の所得制限を廃止した。 医療証交付者(月平均) 79,812人 助成件数 1,303,924件	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課
9	(3)	449	児童手当の支給	11,033,380	10,476,735	A:当初の予定どおり実施できた	児童手当を対象者に支給した。 対象者数(令和7年3月末):52,211人 支給対象児童延数: 910,428人	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課
9	(3)	453	自立支援教育訓練給付金の支給	1,100	999	A:当初の予定どおり実施できた	ひとり親家庭の母又は父の自主的な能力開発を支援した。 支給件数 11件	継続して実施する。	現状維持	子育て給付課

基本目標10 市民との協働によるしくみづくりの推進

令和7年3月31日現在

1 成果指標

(単位:%)

指標	地域の子どもへの育成活動に参加した市民の割合					
指標の説明等	地域における、子どもに関する各種活動への参加状況を見る指標 ※これまでの傾向を参考に、年1ポイント増加することを目標					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
15.0	51.9	53.0	53.3	55.5	56.7	21.0
達成度	247.1	252.4	253.8	264.3	270.0	

2 施策の方向に対する事業の実施状況

【実施状況の総括】

○市ホームページや子育てマップ、子育てガイドなどの様々な媒体を通じて、子育てに関する情報の提供に努め、適切なサービスの利用につなぐことができるよう体制の充実を図った。  
○子どもに関わる関係者が連携した地域の子育て支援のネットワークづくりに取り組み、子どもの健やかな育ちに向けた身近な地域での支え合いを推進した。  
○企業や大学との連携により子どもの交流事業を実施したほか、一般家庭や事業所等の協力により子どもが安心して避難ができる「こども110番の家」の設置を推進するなど、企業等と連携しながら子育て支援の充実を図った。

(1) 計画の実施状況を市民との協働により把握、点検するための機関の運営

【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
10	(1)	464	子ども・子育て支援事業計画の進行管理	14,527	11,310	A:当初の予定どおり実施できた	子ども・子育て会議において、「さがみはら子ども応援プラン(第2次相模原市子ども・子育て支援事業計画)」の実施状況の点検・評価を行った。	令和7年3月に新たに策定した「さがみはら子ども・若者応援プラン」の実施状況について、点検・評価を行う。	現状維持	こども・若者政策課

## (2) 事業等の質の確保・評価をするためのしくみづくり

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
10	(2)	465	学校評議員制度の 推進	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	保護者や地域の方が学 校の教育活動に関わり、 地域に根ざした学校運 営の推進がなされた。	学校・家庭・地域が連携 して、よりよい教育の実 現を目指すとともに、学 校の独自性・自律性を高 め、校長が地域の声を 一層把握しながら適正に 学校運営を行うことを支 援していく。また、学校運 営協議会制度への移行 に向け、検討を進めてい く。	現状維持	学校教育課
10	(2)	466	認定こども園・幼稚 園・保育所等にお ける外部評価の推 進	726(公 立)	726(公 立)	A:当初の予定ど おり実施できた	公立認定こども園、幼稚 園においては、学校改善 委員による外部評価を 実施し、公立保育園にお いては、2園(谷口保 育園、大沢保育園)に対 して第三者評価業務委託 による外部評価を実施し た。	質の向上のため、今後も 継続実施する。	現状維持	保育課
10	(2)	467	児童福祉施設等の サービス評価の促 進	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	・第三者評価実施施設 1 ・自己評価実施施設 3	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課
10	(2)	468	学校評価ガイドラ インに基づく学校評 価の実施	-	-	A:当初の予定ど おり実施できた	全小・中学校を対象に実 施した。	今後も、学校評価を継続 し、開かれた学校づく りを進めていく。	現状維持	学校教育課

## (3)子育てに関する情報の提供

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	実施状況の 評価	令和6年度の 実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
10	(3)	471	育児情報提供環境の充実	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	相模原市子育てサイト及び子育てマップにおいて、子育てに関する情報を提供した。	さがみナビ(さがみはら みんなの地域情報ナビ)において、子育てマップと同様の子育て情報の提供を行っていることから、今後は、子育てマップを廃止し、さがみナビに一本化し、市民へ分かりやすい情報提供を図る。	現状維持	こども・若者政策課
10	(3)	473	「子育てガイド」の発行	800	800	A:当初の予定どおり実施できた	令和5年度版子育てガイドを発行した。 発行部数25,000部	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課
10	(3)	475	電子母子健康手帳を用いた情報発信や災害時におけるデータ管理の推進	2,004	2,004	A:当初の予定どおり実施できた	既存機能を利用した情報発信を行うほか、オンライン予約機能の導入や出産・子育て応援ギフトの電子申請を本アプリを介して行う形としたことで利用者数を伸ばすことができた。	母子保健事業の予約から始め、幅広く本機能が活用されるよう情報発信と併せて運用方法を引き続き整理していく。	現状維持	こども家庭課

## (4)地域の支え合いとネットワークのしくみづくり

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
10	(4)	477	地域子育て支援事業	300	300	A:当初の予定どおり実施できた	【さがみはら子育て支援者ネットワーク】 団体登録 68団体 個人登録 23人 【子育て支援者ネットワーク登録団体・個人紹介リーフレット】 発行部数 5,000部	継続的に実施していく。	現状維持	こども家庭課
10	(4)	480	認定こども園・幼稚園・保育所・小学校の連携の推進	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	「架け橋プログラム・カリキュラム作成ガイド」をもとに、カリキュラム作成・幼保小連携の推進を図った。また、幼保小連携通信を通して、連携の好事例等を紹介した。	第4ステップ(互いのつながりを意識し、保育・教育に生かす接続段階)を重点とし、連携のための組織の設置、架け橋期のカリキュラム作成・実施・検証を目指す。	拡充・充実	保育課
10	(4)	481	若年無業者・フリーター就労支援事業	1,200	1,199	A:当初の予定どおり実施できた	若者サポートステーション等において、個別相談や各種講座、学びなおしプログラム、職場体験等を実施し、支援機関等と連携し、支援を行うことで、若年無業者等の職業的自立や社会参加に必要な能力を身に付ける支援を行った。 ●講座等の開催 開催回数:114回 参加人数:1,075人	令和6年度と同様に、引き続き実施していく。	現状維持	産業支援・雇用対策課
10	(4)	482	地域学校協働活動の推進	751	121	A:当初の予定どおり実施できた	モデル事業として、2中学校区への地域学校協働活動推進員の配置、1学校に地域学校協働本部の設置を継続すると共に、事業検証を行った。 また、事業周知を目的に、研修会を実施した。	モデル事業における検証結果を踏まえ、令和7年度から、学校運営協議会を設置した学校に対して、1年後を目途に推進員を配置(全ての相模原市立小学校、中学校及び義務教育学校へ段階的に配置)していく。	拡充・充実	生涯学習課

## (5)企業等との連携

## 【事業の実施状況】

基本目標	施策の方向	No.	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	実施状況の評価	令和6年度の実施状況	今後の課題・方向性等	実施区分	所管課
10	(5)	484	さがみはら子ども・青年アントレプレナー体験事業	2,500	2,500	A:当初の予定どおり実施できた	○子どもアントレプレナー体験事業(対象:小学生)前年同様、宿泊開催ではなく、日帰りで開催した。 ○アントレ・チャレンジプロジェクト(対象:大学生等)子どもアントレプレナー体験事業の企画や経営者との交流会等を実施した。 (令和6年6月～9月に実施)	・事業継続のため、実行委員会への補助や寄附等の財源確保が必要なことから、認知度向上の取組が必要 ・次世代を支える人材の育成は、将来の産業の発展には欠かせない取り組みであるため、今後も引き続き実施していく。	現状維持	創業支援・企業誘致推進課
10	(5)	486	こども110番の家の設置	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	実施主体【各区安全・安心まちづくり推進協議会】 設置数:3,828箇所	啓発物品の作成やステッカー等で「こども110番の家」のより一層の周知を行う。	現状維持	交通・地域安全課 緑区役所地域振興課 中央区役所地域振興課 南区役所地域振興課
10	(5)	488	企業・大学等スポーツネットワーク事業	150	100	A:当初の予定どおり実施できた	青山学院大学と連携し、令和7年2月22日に実施した。 2種目:バレーボール(女子)、バスケットボール(男子) 参加者:計57人	【課題】 大学と連携した事業のため、大学側の負担が過大にならない開催方法について検討が必要。 【方向性】 市内学校等への事業周知	現状維持	スポーツ推進課
10	(5)	490	事業所内保育事業の促進	-	-	A:当初の予定どおり実施できた	事業所内保育事業3施設の運営支援を行った。	地域の受け入れ枠確保を図るとともに、企業主導型保育事業についても事業支援や地域枠の活用を図る。	現状維持	保育課